

二九精密機械

# 本社建屋の増築完了

## 増員に対応、5割増床

精密金属加工メーカーの二九精密機械工業(本社〓京都市南区、二九良三社長)はこの



増築した建屋⑤

ほど、本社建屋の増築工事を完了させた。事業拡大に伴う社員増加に対応するため、敷

地・延べ床面積は約5割拡大した。5月連休明けからの業務開始を目指す。総投資額は2億5000万円。

昨年5月に着工した工事が終わり、きょう16日に引き渡しを行う予定。本社に隣接する土地に増築した建屋は3階建てで、1階は荷受け・梱包・出荷場、2階は営業・業務フロア、3階は書庫・更衣室などとして使う。本社全体の敷地面積は677平方メートル、延べ床面積は303平方メートルに広がった。

同社は精密機械加工を行う八木工場(京都市南丹市)、ベータタタノ製造の京都工場・R

&Dセンター(京都市南区)などを含めた全社員数は現在193人になる。近年は医療機器用部品の加工や、ベータタタノやニッケルチタン合金「ニチノール」の極細管事業が拡大。今期(2018年3月期)は社員が約30人増加し、本社でも営業の増員によって手狭になっていた。

二九社長は「当社は顧客の悩みを解決するため、開発並みの知識を持った営業が強み。来期は医療向けのニチノール拡販を目指すので、長い目で見て人を増やすことを考える」と、その器を作ることが必要だったと話す。なお、営業の移動によって既存の本社建屋で生じたスペースは商談

・来客に活用する予定。同社は昨年12月、経済産業省が地域経済を引っ張る影響力・成長力があるとする「2017年度地域未来牽引企業」に選定されたほ

か、今年2月には従業員健康管理に優れた企業が認定される「健康経営優良法人2018(中小規模法人部門)」にも選ばれている。